

活動タイトル	子どもサポーター倍増&子ども参加者増増(ますます)計画		団体名	十勝CAPそのの駅	
<p>1年間の活動(アウトプット)の目標(事業全体)</p>	<p>子どもへの暴力防止等を目的としたワークショップの参加者を増やすために、以下の計画を立てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> CAPの周知を図り、理解者・支援者を増やす～SNSやフェイスブックの活用、公開ワークショップの定期開催(5回)、講演会開催(1回)、児童養護施設での地域セミナー開催(1回) 実施メンバーの増員～上記1の活動の中で得た理解者・支援者から、一緒に活動する仲間を7名、2019年春に札幌で開催されるCAPスペシャリスト養成講座に送り出す。 地域の子どもの支援の団体や公的機関と、より強固なネットワークを作る～上記1の活動を進める中でかかわった団体とネットワークを構築していく。 			<p>■活動風景</p>	
<p>■活動報告</p>		<p>■1年間の目標に対する達成状況</p>		<p>植松 努氏 講演会</p>	 <p>2018年11月20日開催 258名参加</p>
<p>●CAPの周知を図り、理解者・支援者を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイスブックを活用(随時)し、公開ワークショップ・講演会・地域セミナー・他グループの活動紹介等の周知をし、参加希望者や興味を示した人に積極的に働きかけた。 公開ワークショップを定期開催し、就学前・小学生・ティーンズの各プログラムを紹介した。 CAPスペシャリストでもあり、ロケット打ち上げで有名な植松努氏を講師に迎えて講演会を開催し、CAPの取り組みについても紹介していただいた。 児童養護施設で地域セミナーを開催し、児童養護施設に関わる、施設職員、児童相談所、里親、民生委員、地域の方にCAPの取り組みを伝え、理解者・支援者の拡大を図った。 <p>●実施メンバーの増員</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の中で得た理解者・支援者から、一緒に活動する仲間を2019年春に札幌で開催のCAPスペシャリスト養成講座に送り出した。 <p>●地域の子どもの支援のネットワークを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> CAPメンバー全員が様々な活動を通じて、いろいろな団体や個人に対してCAP活動を積極的に啓蒙し、理解者・支援者の拡大を図った。 	<p>●CAPの周知を図り、理解者・支援者を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイスブックによる周知と興味を持った人への地道な働きかけ(随時)により、公開ワークショップ・講演会・地域セミナーへの参加者が、確実に増加した。 公開ワークショップの定期開催(5回)により、年齢に応じたプログラムを紹介し幅広い層の理解を得ることができ、新たに23名の賛助会員を得た。 講演会(1回)に参加した258名の多くがCAP活動を知らない人たちであったため、講師の協力を得てCAP活動について紹介することができた。その結果、32名がCAPに興味を持ち、今後の活動情報の連絡を希望した。 地域セミナー(1回)には50名が参加し、地域の理解あるおとなたちに出会うことができ、賛助会員増に繋げることができた。特に地元の企業経営者がCAPの活動に興味を持ち賛助会員になったことは新たな展開が期待できる。 <p>●実施メンバーの増員</p> <p>CAP活動の理解者の中から賛助会員になった人が活動に参加し、メンバーの一員となり、その中から、10名をCAPスペシャリスト養成講座に送り出すことができた。また、既に基礎編受講済みの賛助会員1名が実践編を受講した。当初は、7名(少なくとも5名)を目標としていたが、大きく上回る結果となり、新たに11名の資格取得者(活動会員)を得ることができた。</p> <p>●地域の子どもの支援のネットワークを作る</p> <p>公開ワークショップ等で得た理解者・支援者となっていた方たちが、自分の周りに働きかけることにより、今まで繋がりの無かった地域や団体に繋がりが広がっていった。また、道徳の授業との連携でCAP導入が考えられないかという動きも出てきている。</p>	<p>公開ワーク ショップ(小学 生プログラムの 紹介)</p>	 <p>2019年8月1日開催 41名参加</p>		
<p>■1年間の活動のまとめ</p>	<p>■事業を通じて得られたノウハウ</p>	<p>■実施した人材育成策</p>	<p>■活動成果のアピールポイント(自由記入)</p>		
<p>・当初の目標である「定期的な公開ワークショップの開催(5回)、講演会開催(1回)、地域セミナー開催(1回)」について予定どおり実施するとともに、理解者・支援者を増に繋げることができた。</p> <p>・26名の賛助会員と、目標を上回る11名の新たなCAPスペシャリスト(活動会員)を得ることができた。</p> <p>・新たな活動会員や賛助会員たちがスタッフとして関わることで、活動地域の拡大に結びつき、公開ワークショップの参加者が増えるなど、良い波及効果が生み出されている。</p> <p>・子どもにCAPのメッセージを届けたいと願うおとなが、自ら行動して仲間を作っていく、CAPのメッセンジャーになっている。</p>	<p>・子どもへの暴力防止のためにCAPプログラムを「誰に?何のために?いつ?届けるか」など、具体的な目標を持って公開ワークショップに取り組むようになった。</p> <p>・スペシャリストが増えたことで、ワークショップの流れや取り組み方を、会の内部で共有できるように改善した。</p> <p>・アンケートの設問を次のワークショップに活かせるように変更した。</p> <p>・地域セミナー開催は初めてだったが、子どもをとりまく大人の連携が必要との感想を多くいただき、CAP活動の可能性・必要性を当会としても改めて認識した。数値化するの難しいが、引き続き取り組みたい。</p> <p>・新たな活動会員を含め全員がスキルアップのために「今(資格取得半年)できることを数値化」して1年後と比較することのできるシートを活用する。</p> <p>・餅は餅屋!各自得意な分野を活かして行動することにより、新たな展開を生まれることを実感した。</p>	<p>・資格取得前のメンバーには、CAPの理解促進のために、活動への参加を促した。(公開ワークショップの参加、会議への参加、公開ワークショップ・講演会の運営スタッフとしての参加、ワークショップの練習への参加等)</p> <p>・資格取得後には、公開ワークショップでロールプレイヤーとして実践することを目標に、デビュー希望者の練習に参加して、セリフやシナリオに触れる機会を増やした。</p> <p>・会のPCの保管、ワークショップ運営のための準備、使用するシートや用紙の保管等々について、スタッフ個々の役割を明確にして、一人ひとりが責任を持って行動できるようにした。</p>	<p>この1年間の活動を通じて</p> <p>26名の賛助会員! 11名のCAPスペシャリストが誕生!</p> <p>を達成しました。</p>		
<p>■受益者の変化(効果測定結果等)</p>		<p>●公開ワークショップ、地域セミナーおよび講演会の参加者 自分の地域で子どもへのワークショップ実施に向けて動きが出てきた。</p> <p>●新たなCAPスペシャリスト 公開ワークショップでロールプレイヤー実践、スタッフ参加、実施の前準備、ワークショップの小物制作など、各自ができることを責任を持って取り組むことにより、それが次の公開ワークショップへの参加者増に繋がってきている。</p>			